

科目名	日常生活活動学演習 I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2 後期
【授業の目的・ねらい】 疾患別の日常生活活動の評価方法や指導方法を学び、それらを身につける 臨床実習に生かす MTDLPの基礎を学ぶ							
【実務者経験】 身体障害・老年期障害系の病院で11年間勤務後、7年半認知症専門棟を有する介護老人保健施設に勤務する。 主に身体障害分野、老年期障害分野の対象者に作業療法を実施する。 県立病院で20年勤め、その他一般病院、デイサービス、訪問リハビリなどでも勤務。身体障害領域の急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションに従事している。							
【授業全体の内容の概要】 疾患別の日常生活活動の特徴や方法について演習を通して学ぶ							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 脳血管疾患の対象者の日常生活活動の基本的な方法を指導できる（基本動作、排泄動作、更衣動作等） 頸髄損傷の対象者の日常生活活動の基本的な方法を自分でできる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション 脳卒中片麻痺（疾患・機能障害の概要）						教科書、配布プリント
2	脳卒中片麻痺（起居・移乗動作）						教科書、配布プリント
3	脳卒中片麻痺（起居・移乗動作）						教科書、配布プリント
4	脳卒中片麻痺（立ち上がり・移動動作）						教科書、配布プリント
5	脳卒中片麻痺（立ち上がり・移動動作）						教科書、配布プリント
6	脳卒中片麻痺（更衣、排泄、食事動作）						教科書、配布プリント
7	脳卒中片麻痺（更衣、排泄、食事動作）						教科書、配布プリント
8	脳卒中片麻痺（入浴、コミュニケーション、IADL）						教科書、配布プリント
9	頸髄損傷（疾患・機能障害の概要）						教科書、配布プリント
10	頸髄損傷（基本動作：起居・移乗・移動）						教科書、配布プリント
11	頸髄損傷（食事・排泄・更衣）						教科書、配布プリント
12	頸髄損傷（整容・入浴・環境制御装置他）						教科書、配布プリント
13	パーキンソン病						教科書、配布プリント
14	神経筋疾患						教科書、配布プリント
15	呼吸器疾患						教科書、配布プリント
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 PTOTビジュアルテキストADL 羊土社							
【準備学習・時間外学習】 学んだ内容を定着させるため、復習を毎回行う。 実技に関しては、身につけることができるまで、練習を行う。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テスト30点、実技試験35点、定期試験35点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							